

第3章 これまでの取組と評価

令和元（2019）年5月に「日向市自殺対策行動計画（第1期）」を策定し、令和元（2019）年度から、関係機関や民間団体等で構成する「日向市自殺対策推進協議会」において、毎年実施計画に対する取組状況の確認や評価を行うことにより連携を図りました。

また、市の関係課による「日向市自殺対策庁内推進会」を設置し、市における総合的な自殺対策を推進してきました。

1 数値目標

数値目標については、国の方針を踏まえ、本計画における目標値として、「自殺死亡率を平成28（2016）年の13.0から、令和8（2026）年までにおおむね30%減らし9.1以下にすること」としており、中間目標では「令和3（2021）年の自殺死亡率を11.1とすること」としていました。

令和3（2021）年の結果は11.9と、中間目標に届きませんでした。計画作成時と比較すると1.1減少しました。

2 評価指標

基本施策1 地域におけるネットワークの強化

評価指標	目標値	第1期評価
日向市自殺対策推進協議会の会議の開催	年1回	日向市自殺対策推進協議会、日向市自殺対策庁内推進会については、新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催となった時もありましたが、年1回開催し、計画の進捗状況や各課、各団体の取組等を共有することで、連携を深めることができました。
日向市自殺対策庁内推進会の会議の開催	年1回	
庁内関係部署が連携を円滑に行うために多分野合同研修会の開催	年1回	

基本施策2 自殺対策を支える人材の育成

評価指標	目標値	第1期評価
市民を対象としたゲートキーパー研修の実施	年1回実施 年間50人以上参加	令和2（2020）年に1回（25人参加）実施しましたが、その他の年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により市民を対象とした講習会等の機会が減少し、目標の達成には至りませんでした。

評価指標	目標値	第1期評価
関係部署・団体等を対象としたゲートキーパー研修の実施	年2回実施 年間100人以上参加	令和元(2019)年度から令和4(2022)年度にかけて、高齢者支援施設職員、民生委員・児童委員、区長公民館長、傾聴ボランティアスタッフ等、合計128名が研修を受講しましたが、目標の達成には至りませんでした。
市職員はゲートキーパー研修を受講	5年後までに 全員受講	令和元(2019)年度から令和4(2022)年度にかけて、278名の市職員が受講しましたが、目標の達成には至りませんでした。

基本施策3 市民への啓発と周知

評価指標	目標値	第1期評価
啓発リーフレットの作成・配布	全戸配布・各 関係機関等 への配布	毎年、相談先一覧を掲載した「日向市こころの電話帳」を作成し、区加入世帯や市内金融機関及び薬局等に配布する等、市民への周知啓発に努めました。
担当課・団体が行うイベント等を通じての啓発の実施	少なくとも 年1回	新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止が相次いだ年度もありましたが、年1回以上はイベント等で啓発活動を実施しました。
あらゆる機会を通じての健康教育の実施	年10回	新型コロナウイルス感染症の影響で健康教育の機会が減少し、年1回の実施に留まり、目標の達成には至りませんでした。

基本施策4 生きることへの促進要因への支援

評価指標	目標値	第1期評価
「生きることの促進因子への支援」について各担当課・団体に対し取組状況を確認、及び改善すべき課題を抽出し、支援体制の充実を目指します。		毎年、日向市自殺対策庁内推進会及び日向市自殺対策推進協議会を開催し、計画の進捗状況等について確認や取組の共有を行い、支援体制の充実を図りました。

基本施策5 いのちを大切にせる教育(児童生徒のSOSの出し方に関する教育等)

評価指標	目標値	第1期評価
「いのちを大切にせる教育」の受講	児童生徒に対して年1回以上	長期休業明けなどのリスクが高まる時期に、SOSの出し方に関する教育を含めた授業等を実施し、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援を行うことができました。

3 計画掲載事業の実施状況

第2期の計画を作成するにあたり、各課において第1期の施策に対する評価を実施しました。各課の施策達成度は以下のとおりです。

事業の廃止や計画の変更等により、評価不可となった事業が10.8%あり、それを除いた事業において達成度の評価を行いました。

【達成度評価指標】

◎	当初の予定どおり実施できた。(達成度：80%以上)
○	おおむね実施できた。(達成度：60～80%未満)
△	実施は不十分だった。(達成度：60%未満)
×	実施できなかった。

〈各課〉

	達成度			
	◎	○	△	×
基本施策	54.5%	33.8%	10.4%	1.3%
重点施策	41.2%	47.0%	11.8%	0%
生きる支援の関連施策	52.3%	30.2%	13.7%	3.8%

〈全課共通〉

※市職員対象のゲートキーパー養成研修の受講、イベント時の啓発、相談窓口での対応等

	達成度			
	◎	○	△	×
基本施策	21.4%	64.3%	10.7%	3.6%
重点施策	56.3%	43.7%	0.0%	0.0%

〈全体評価〉

各課の基本施策、重点施策、生きる支援の関連施策の達成度については、「当初の予定どおり実施できた」「おおむね実施できた」の割合が、それぞれ 88.3%、88.2%、82.5%と高い割合を示しており、各所管課が役割を認識し、自殺対策を実施することができました。

「実施できなかった」と評価した事業については、各課における市職員対象のゲートキーパー養成研修への受講や、市民への周知啓発が挙げられています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響によるものとして、イベントの開催制限や事業計画の変更等で、実施できなかった事業や途中で廃止となった事業が多くありました。これらを踏まえ、第2期計画では、受講しやすい研修のあり方の検討、現状に応じた事業への変更等を考慮しながら自殺対策を推進していく必要があります。

第2期計画推進においても、毎年度各課の進捗状況を確認し、庁内全体での共有を図るとともに、関係機関や民間団体等とも連携して目標達成に取り組めます。

